

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月11日

上場会社名 小倉クラッチ株式会社

上場取引所 JQ

コード番号 6408 URL <http://www.oguraclutch.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 康宏

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 河内 正美

TEL 0277-54-7120

四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	12,902	—	120	—	181	—	△29	—
20年3月期第1四半期	12,720	△2.4	336	68.0	641	29.2	262	21.9

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第1四半期	△1.94	—	—	—
20年3月期第1四半期	17.49	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
21年3月期第1四半期	47,437	—	17,554	—	36.4	1,150.53	—	
20年3月期	46,775	—	17,733	—	37.4	1,163.37	—	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 17,269百万円 20年3月期 17,463百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
第2四半期連結累計期間	25,000	—	340	—	510	—	50	—	3.33
通期	50,700	2.4	430	△21.6	720	236.1	110	△117.6	7.33

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

〔(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 15,533,232株 20年3月期 15,533,232株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 523,668株 20年3月期 522,454株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 15,010,069株 20年3月期第1四半期 15,016,208株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月19日に公表いたしました連結業績予想は、第2四半期連結累計期間、通期とも本資料において修正しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用に当たっての注意事項等について、および上記1に係る業績予想の具体的修正内容は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、原油価格の高騰等による物価上昇懸念から個人消費の伸び悩みや企業の設備投資に陰りが見られるなど景気の減速感が強まる中推移しました。また、世界経済では、新興国を中心に景気拡大が続いたものの、米国サブプライムローン問題に端を発する金融・資本市場の信用収縮が实体经济にも波及し、欧米諸国では景気の減速局面が続きました。

当社製品の主要需要先である自動車業界におきましては、国内販売については新車買い換え期間の長期化の影響などにより、引き続き前年割れの状態が続いております。また、海外における自動車販売は、米国においてはガソリン高にともない低燃費車が好調な半面、ビッグスリーは不振が続いております。一方、アジア諸国を中心に新興国では比較的堅調に推移しました。

このような状況のもとで、当社グループはグローバル市場で積極的な販売活動を行ってまいりました。輸送機器用クラッチ部門は、北米地域におけるサブプライムローン問題などの影響はありましたが、ほぼ前年並みの販売状況となりました。また、マイクロクラッチ・一般産業用クラッチ部門は、昇降機向けやモーター業界向けおよび自動車関連業界向けの需要が増加しました。

結果として、当第1四半期連結会計期間の売上高は、前年同期比1.4%増の12,902百万円となりました。利益面につきましては、鋼材価格の上昇の影響などにより営業利益は64.2%減の120百万円となり、為替差益の減少などにより経常利益は71.7%減の181百万円に、「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用などにより29百万円の四半期純損失となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

流動資産は、主に受取手形及び売掛金の増加等により32,238百万円（前期末比884百万円増）となりました。固定資産は、主に有形固定資産の減価償却等により15,198百万円（前期末比201百万円減）となりました。その結果、総資産は47,437百万円（前期末比682百万円増）となりました。

(負債の部)

流動負債は、主に仕入債務の増加等により22,753百万円（前期末比140百万円増）となり、固定負債は、主に長期借入金の増加等により7,129百万円（前期末比720百万円増）となりました。その結果、負債合計は29,883百万円（前期末比861百万円増）となりました。

(純資産の部)

純資産は、主に利益剰余金の取り崩し等により17,554百万円（前期末比179百万円減）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

売上高は当初予想を若干上回る見込みですが、営業利益ベースでは鋼材価格の上昇による持ち出し額による悪化が見込まれます。好転要因としては対ドル為替レートが平成20年3月期よりも円安に振れたことにより設定レートを100円から105円に見直したことにともない為替メリットが発生します。また、国内子会社の採算状況が改善し、営業利益が好転する見込みです。

経常利益ベースでは為替差益を見込みましたが、特別損失として棚卸資産評価損（244百万円）を計上した結果、四半期純利益・当期純利益は当初予想を下回る見込です。

なお、為替レートにつきましては通期で1ドル105円、1ユーロ155円を想定しております。

業績予想に関する事項につきましては、本日平成20年8月11日公表の「特別損失の計上並びに業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

② 税金費用の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 当第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定しております。

なお、これにより営業利益、経常利益がそれぞれ13百万円減少し、税金等調整前四半期純利益が257百万円減少しております。

③ 当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用しております。

なお、これによる損益への影響額は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,771	7,368
受取手形及び売掛金	15,926	14,628
有価証券	75	75
商品及び製品	3,074	3,524
仕掛品	2,546	2,995
原材料及び貯蔵品	1,548	1,613
繰延税金資産	591	273
その他	734	915
貸倒引当金	△31	△41
流動資産合計	32,238	31,354
固定資産		
有形固定資産	11,369	11,536
無形固定資産	149	162
投資その他の資産		
その他	3,728	3,751
投資損失引当金	△50	△50
投資その他の資産	3,678	3,701
固定資産合計	15,198	15,400
資産合計	47,437	46,755
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,195	12,638
短期借入金	7,438	8,153
未払法人税等	255	101
賞与引当金	102	412
その他	1,760	1,307
流動負債合計	22,753	22,613
固定負債		
長期借入金	5,973	5,427
繰延税金負債	574	418
役員退職慰労引当金	387	364
退職給付引当金	99	78
債務保証損失引当金	13	13
その他	80	105
固定負債合計	7,129	6,408
負債合計	29,883	29,021

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,858	1,858
資本剰余金	1,844	1,844
利益剰余金	13,937	14,176
自己株式	△338	△337
株主資本合計	17,302	17,542
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	475	509
為替換算調整勘定	△509	△589
評価・換算差額等合計	△33	△79
少数株主持分	285	270
純資産合計	17,554	17,733
負債純資産合計	47,437	46,755

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	12,902
売上原価	11,315
売上総利益	1,587
販売費及び一般管理費	
販売費及び一般管理費合計	1,467
営業利益	120
営業外収益	
受取利息	25
受取配当金	17
為替差益	70
その他	9
営業外収益合計	123
営業外費用	
支払利息	41
手形売却損	12
持分法による投資損失	5
その他	3
営業外費用合計	62
経常利益	181
特別利益	
投資有価証券売却益	88
特別利益合計	88
特別損失	
たな卸資産評価損	244
特別損失合計	244
税金等調整前四半期純利益	24
法人税、住民税及び事業税	71
法人税等調整額	33
法人税等合計	38
少数株主利益	15
四半期純損失()	29

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

当社グループは、電磁クラッチ、機械・特殊クラッチの製造販売を主事業としている専門メーカーですが、当連結会計年度については、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める1セグメントの割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	日本 (百万円)	北米及び 南米 (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	8,127	2,966	1,178	631	12,902	—	12,902
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,322	105	0	185	2,612	(2,612)	—
計	10,449	3,071	1,178	816	15,515	(2,612)	12,902
営業利益	53	2	60	51	168	△48	120

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米及び南米…米国、ブラジル

(2) ヨーロッパ…フランス

(3) アジア…マレーシア、中国

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	北米及び南米	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	2,966	1,189	1,661	5,816
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	12,902
III 海外売上高の連結売上高に占める割合（%）	23.0	9.2	12.9	45.1

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米及び南米…米国、カナダ、ブラジル

(2) ヨーロッパ…フランス、ドイツ

(3) その他の地域…マレーシア、中国

3. 海外売上高は、提出会社の輸出高並びに本邦以外の国に所在する連結子会社の売上高の合計額（ただし、連結会社間の内部売上高を除く）であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額 (百万円)
I 売上高	12,720
II 売上原価	10,874
売上総利益	1,846
III 販売費及び一般管理費	1,510
営業利益	336
IV 営業外収益	434
V 営業外費用	130
経常利益	641
VI 特別利益	0
VII 特別損失	7
税金等調整前四半期純利益	633
税金費用	371
四半期純利益	262